

震災支援第2回研修会開催

いわて動作法チーム

第2回研修会は、愛知学院大学吉川吉美先生を講師に迎え、臨床心理士、精神科医、作業療法士、小・中・高・支援学校の教師など約30名が参加しました。

研修は、実技中心に行われ、頸、背（3番・4番5番）のリラクゼーションのあと、軸が大事であるということで「体軸作り」などにじっくり取り組みました。

そして今回特徴的だったのは、小学校、中学校、高校の先生が参加されたことかと思いません。これは、小、中、高においてストレスマネジメントの必要性を物語っているように感じました。また、被災地は今、仮設住宅に移行しつつありますが「こころのケア」がまさにこれから必要なのだという思いを強くしました。

自ら被災者でもあり研修に参加されたある精神科のお医者さんが、「県の委託により山田町に精神的ケアの拠点を作るので是非協力して欲しい」との要請がありました。精神科医の方は、動作を体験されて、これはやれるとの実感をもたれたものと思われます。